

再評価【番号10】河川整備課

**総合流域防災事業
一級河川吉野川水系 岩谷川**

1. 河川の概要

- 一級河川 吉野川水系岩谷川
- 流路延長 2.5km
- 流域面積 9.4km²



「出典：国土地理院発行2.5万分1地形図 電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成」

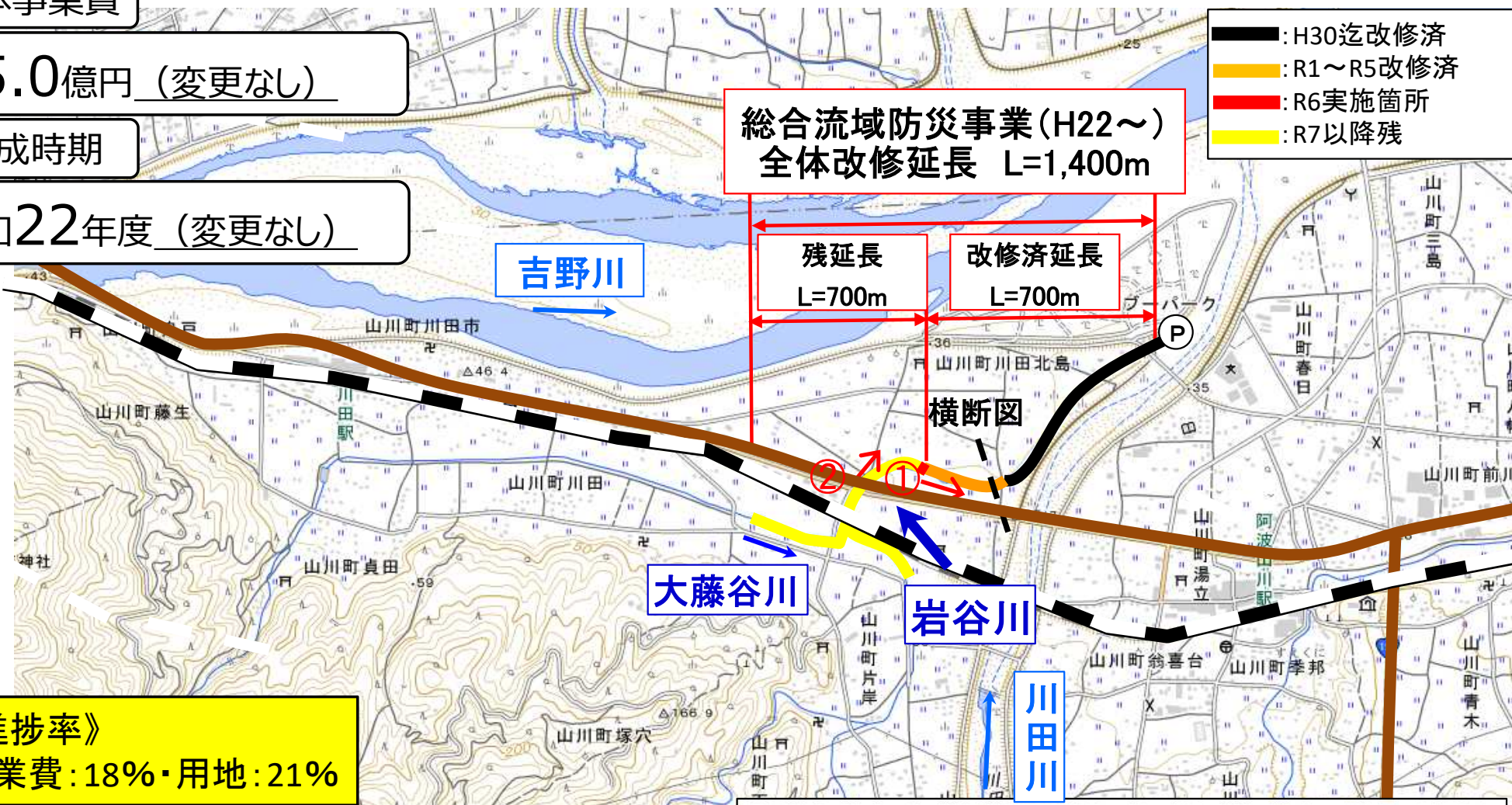
2. 事業概要

全体事業費

45.0億円 (変更なし)

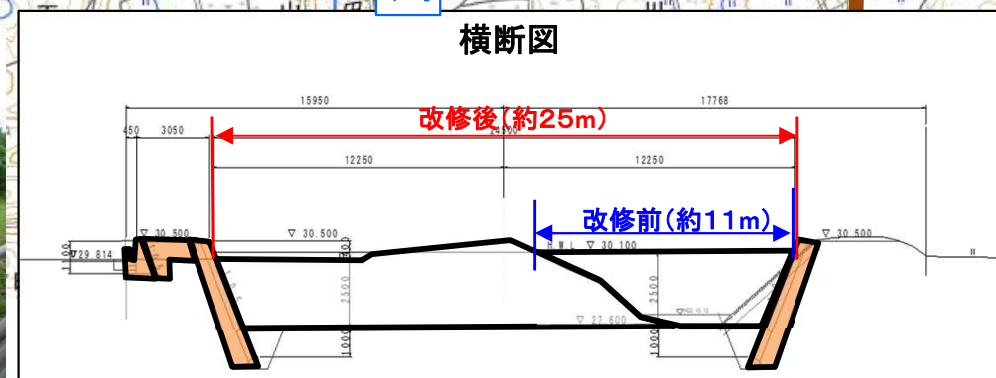
完成時期

令和22年度 (変更なし)



《進捗率》

事業費: 18%・用地: 21%



「出典: 国土地理院発行2.5万分1地形図 電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成」

3. 整備効果

貨幣換算可能な整備効果

【治水経済調査マニュアルによるB/C】

- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 営業停止被害
- ・ 応急対策費用 など

↓ 被害軽減期待額
= 便益B
計 81.3億円
(現在価値化後)

費用C = 39.7億円
(現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 2.0$$

【水害の被害指標分析の手引きによる便益】



経済被害の域内・外への
波及被害

交通途絶による被害

出水1回当たり 843万円の
被害を軽減

出水1回当たり 4万円の
被害を軽減

出水1回当たり
被害額
= 847万円

計画規模(1/10)洪水浸水範囲
□ : 整備前(33.6ha)
■ : 現在(27.2ha)

「出典: 国土地理院発行2.5万分1地形図
電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成」

4. 多様な効果

貨幣価値に表れない整備効果

【水害の被害指標分析の手引きによる便益】

人的被害の軽減

①浸水区域内人口	229人
②浸水区域内の災害時要援護者数	90人
③最大孤立者数	115人
④被災する事務所の従業員数	34人

ライフライン停止による波及被害の軽減

①電力停止による影響人口	48人
②ガス停止による影響人口	12人
③通信(固定)の停止による影響人口	48人

その他の被害軽減

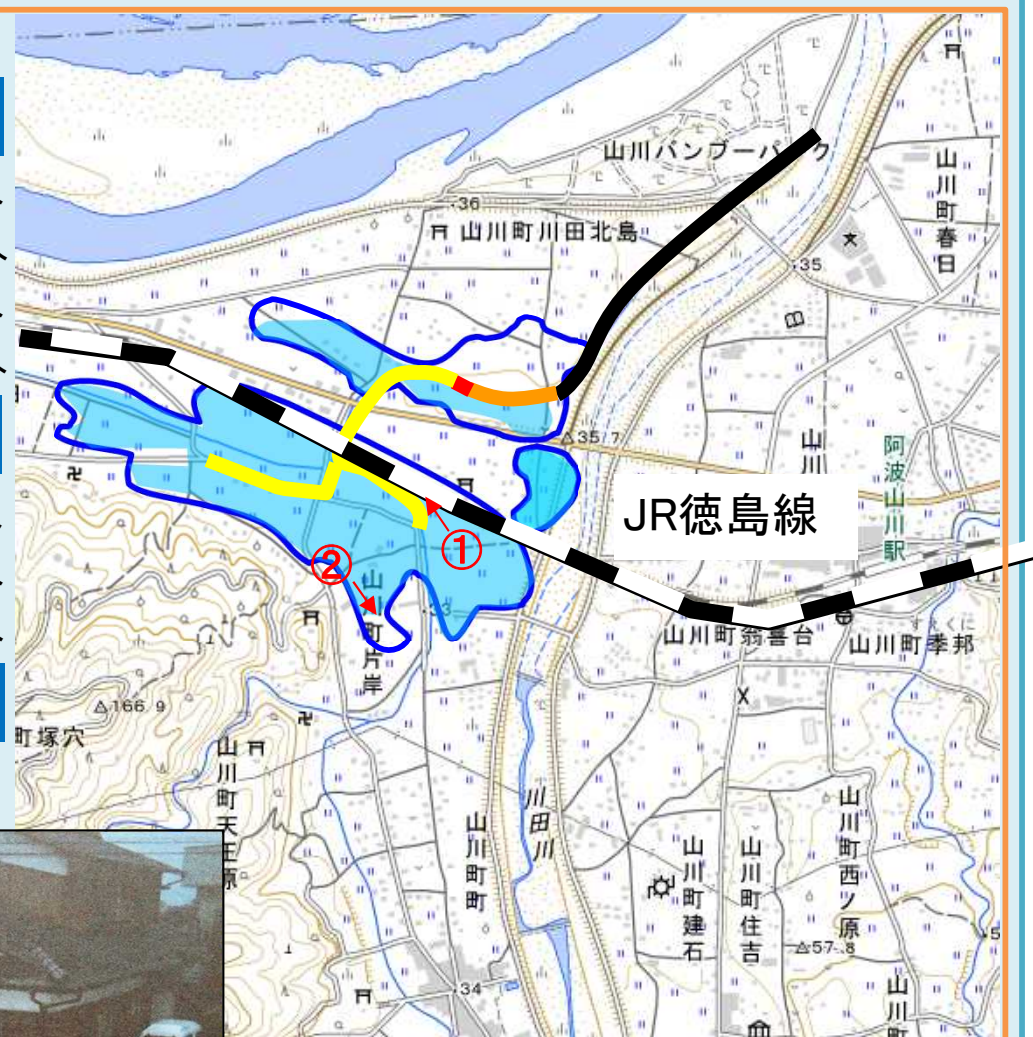
①JR運休による影響人口	2,284人/日
--------------	----------



H16.10 台風23号



H21.8 台風9号



計画規模(1/10)洪水浸水範囲

- : 整備前(33.6ha)
- : 現在(27.2ha)

「出典: 国土地理院発行2.5万分1地形図電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成」

5. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

【治水経済調査マニュアルによるB/C】

- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 営業停止被害
- ・ 応急対策費用 など

↓ 被害軽減期待額
= 便益 B
計 81.3億円
(現在価値化後)

費用 C = 39.7億円
(現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 2.0$$

出水 1 回当たり被害額 = 847万円
(交通途絶被害、経済の波及被害)

貨幣価値に表れない整備効果

【「水害の被害指標分析の手引き」による便益】

人的被害の軽減

- ① 浸水区域内人口の減少
- ② 浸水区域内災害時要援護者数の減少
- ③ 浸水区域内最大孤立者数の減少
- ④ 被災する事業所の従業員数

ライフライン停止による波及被害の軽減

- ① 電力の停止による影響人口
- ② ガス停止による影響人口
- ③ 通信(固定)の停止による影響人口

その他の被害の軽減

- ① JR運休による影響人口

■ 今後の対応方針 (案)

事業継続